

▶ 基金（貯金）・市債（借入金）の状況

◆**基金とは、貯金のごとくです。**平成 25 年度の一般会計では、平成 24 年度決算の黒字額の一部の積み立てなどで、8 億 6,480 万円の増額となりました。

基金には、急激な支出の増加による歳入不足に備えたり、特定の事業を行う目的で積み立てるものがあります。

◆**市債とは、財政運営を円滑に行うために借り入れるお金のごとくです。**一般会計では、道路や施設を建設するために借り入れた建設地方債の残高が 24 年度に比べ 3 億 4,468 万円減少しています。一方で、返済費用が地方交付税に加算される臨時財政対策債などの残高は、11 億 68 万円増加する結果となりました。

市債には、マイホームや自家用車を購入する場合の「借金（ローン）」とは異なり、返済額の一定割合が地方交付税に加算されるものもあり、借り入れを行うことで財源的に有利となる場合がありますので、十分に精査をしたうえで活用しています。この他にも、市債には次のような目的があります。

- ◆学校や公園、公共施設などの建設費用は多額であるため、分割して支払うことにより負担を分散します。
- ◆何十年も使用される施設などの建設費は、現在税金を納めている方だけでなく、将来的に施設を利用する後世代の方にも返済を負担してもらい、世代間の公平を図ります。

25 年度に取り組んだ主な事業

【安心のまちづくり】

- ◆病院事業…25 億 7,418 万円【写真①】
- ◆舞鶴地域医療連携機構事業費等補助金…3,592 万円
- ◆子育て交流施設整備事業…7,878 万円【写真②】
- ◆公立保育所統合整備事業…1,882 万円
- ◆介護人材確保支援事業…3,997 万円
- ◆子育て応援住宅助成金…1,896 万円
- ◆民間木造住宅耐震改修等推進事業…1,228 万円
- ◆消防救急無線デジタル化事業…1 億 5,955 万円
- ◆校舎等改修事業（小学校）…6 億 7,911 万円【写真③】
- ◆学校給食運営経費（中学校）…9,369 万円【写真④】
- ◆夢チャレンジサポート事業…427 万円
- ◆（仮称）前島歩道橋周辺整備事業…6,728 万円
- ◆災害復旧費（台風 18 号関連等）…3 億 4,827 万円

基金の状況

項目	25 年度末 現在高	24 年度末 現在高	増減額	伸び率
一般会計	116 億 1,400 万円	107 億 4,920 万円	8 億 6,480 万円	8.0%
特別会計	39 億 4,117 万円	40 億 6,031 万円	▲1 億 1,914 万円	▲2.9%
計	155 億 5,517 万円	148 億 951 万円	7 億 4,566 万円	5.0%

市債の状況

項目	25 年度末 現在高	24 年度末 現在高	増減額	伸び率
一般会計	339 億 8,335 万円	332 億 2,735 万円	7 億 5,600 万円	2.3%
建設地方債	200 億 1,923 万円	203 億 6,391 万円	▲3 億 4,468 万円	▲1.7%
臨時財政対策債など	139 億 6,412 万円	128 億 6,344 万円	11 億 68 万円	8.6%
特別会計・企業会計	372 億 7,722 万円	363 億 7,679 万円	9 億 43 万円	2.5%
下水道債	289 億 551 万円	289 億 228 万円	323 万円	0.0%
上水道債	51 億 2,893 万円	53 億 5,109 万円	▲2 億 2,216 万円	▲4.2%
病院債	16 億 3,921 万円	6 億 9,386 万円	9 億 4,535 万円	136.2%
その他	16 億 357 万円	14 億 2,956 万円	1 億 7,401 万円	12.2%

【臨時財政対策債】道路や施設などの建設事業に充当する通常の借入金とは異なり、国から交付されるべき地方交付税の一部を補うために借り入れるお金。返済額の 100%が後年度の地方交付税で措置されるため、返済にかかる実質的な市の負担はありません。

【活力あるまちづくり】

- ◆世界記憶遺産登録推進事業…1,406 万円【写真⑤】
- ◆万願寺甘とう振興事業…3,448 万円【写真⑥】
- ◆舞鶴観光ブランドプロモーション戦略事業…4,657 万円
- ◆舞鶴赤れんがパークブランディング事業…3,663 万円【写真⑦】
- ◆京都舞鶴港クルーズ推進事業…1,326 万円【写真⑧】
- ◆まいづる元気産業創出事業…2,161 万円
- ◆企業誘致実現プロジェクト事業…4,281 万円
- ◆幹線道路整備事業…2 億 2,902 万円【写真⑨】
- ◆赤れんがハーフマラソン開催経費…1,228 万円【写真⑩】

【市民に役立つ市役所づくり】

- ◆公共施設のあり方調査検討事業…957 万円
- ◆行財政改革推進経費（公開事業評価の実施等）…61 万円【写真⑪】

▶ 健全化判断比率の状況

右表で示す 4 つの指標において、“財政上のイエローカード”と言われる「早期健全化基準」をいずれも下回っていることから、まいづる家の家計、すなわち舞鶴市の財政は現在のところ健全であると言えます。

その一方で、まいづる家の給料にあたる市税等の減少など、本市の財政を取り巻く環境は厳しい状況が見込まれますが、限られた財源の中で重要性や優先度に応じた施策の選択を行い、将来にわたって持続可能な財政運営に努めています。



健全化判断比率等の状況

項目	概要	比率等	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等における赤字の程度を指標化したもの。この数値が高いほど、財政運営状況が深刻であると判断される。	-	12.5%	20%
連結実質赤字比率	すべての会計における合計の赤字額が、標準的な収入に占める割合。市全体としての赤字の程度を示したものの。	-	17.5%	30%
実質公債費比率	1 年間の収入に対する借入金（市債）の実質的な返済額などの割合を指数化（過去 3 か年平均）したもの。	10.5%	25%	35%
将来負担比率	借入金の返済や職員の退職金など将来必ず支払わなければならないお金の現時点での総額を指標化したもの。市の財政を圧迫する可能性を示す指標となる。	80.9%	350%	

※実質赤字比率と連結実質赤字比率については、黒字のため「-」表記。

▶ 特別会計・企業会計の概要

特別会計（企業会計を含む）は、国民健康保険事業や下水道事業など、目的の決まった特定の事業を行う場合に、その保険料や使用料などの収入をもってその事業の経費を賄うため、一般会計とは別に経理を行う会計です。

また、企業会計は、民間企業と同じように事業収益で運営されている会計です。

特別会計（全 8 会計）・企業会計（全 2 会計）の歳入総額は 276 億 2,422 万円（対前年度比 5.0%増）、歳出総額は 281 億 4,891 万円（同 7.1%増）となりました。

企業会計（消費税込み）

区分		収益的収支		資本的収支		概要
		25 年度	24 年度	25 年度	24 年度	
水道事業	収入	16 億 4,169 万円	1 億 5,225 万円	1 億 5,225 万円	6,708 万円	配水量（年間）10,963,414 立方メートル 給水戸数 30,181 戸
	支出	15 億 1,625 万円	12 億 8,992 万円	12 億 8,992 万円	2,303 万円	
病院事業	収入	10 億 430 万円	15 億 4,361 万円	15 億 4,361 万円	310 万円	療養病床数 56 床 入院患者 50.5 人/日 外来患者 37.5 人/日 （うち診療所患者 26.8 人/日）
	支出	10 億 39 万円	15 億 7,379 万円	15 億 7,379 万円	149 万円	

【収益的収支】営業面から見た収支

【資本的収支】建設改良費など投資的な経費の収支

※資本的収入額が支出額に不足する額は、損益勘定留保資金などで補てん



市制 70 周年記念事業

- ①新しくなった市民病院
- ②子育て交流施設完成予想図
- ③リニューアルした新舞鶴小学校の校舎
- ④白糸中学校で給食を開始
- ⑤ユネスコ世界記憶遺産登録に向けて行った記者会見の様子
- ⑥整備した万願寺甘とう用パブハウス
- ⑦にぎわう赤れんがパーク
- ⑧クルーズ船の出港セレモニー
- ⑨完成した市道北吸森線
- ⑩赤れんがハーフマラソン
- ⑪公開事業評価の実施
- ⑫市制施行 70 周年記念式典